

'97年型911

PART2
インテリア編



ボルシェ伝統のレカロ・シートは
かなり自由にアジャストできる



これが馴染みの
浅いリアシート

これはあまり見る機会のないリアシート。911が4人乗りだったということが再認識される。といっても、到底大人が2人ちゃんと座れるような代物ではない。子供なら乗せられるが、この空間じゃ決して喜んではくれないだろう。



50:50のナゾの
分割可倒式シート

あまり知られていないかもしれないが、このリアシートは2分割で前に倒すことができる。だからといってトランクスルーになるわけでもなく、ただものを乗せたときに、シートの座面を汚さなくて済むというだけのような気がする。



'97モデルもボルシェのシートはもちろんレカロ製である。電動で座面の前方および後方がそれぞれ上下できるのは全車標準装備。基本的にリクライニングと前後のスライドは手動だが、カレラ4Sとターボはこれらも電動になる。ちなみに手動のレバーは左シートでは右前方のシート下にリクライニング用、左前方シート下にスライド用がある。電動仕様車は、シート横のスイッチに箇所によってまとめられるので、操作も便利。

右ハン、左ハンとも
左座席足元にある

左側のシートの足元にボンネット・オープナーがある。これは通常の感覚で、手前に引くとロックが解除される。アルミのボンネットは取り扱いに注意。



911にしてはオーソドックス?

この小さな円形のものに911の電動ドアミラー調整スイッチ。操作は通常のものと同じで、手前のスイッチで左右を選択し円形のもので上下左右の角度を決める。



まるで生き物のように点滅する

集中ドアロックがかかりセキュリティー・システムが稼働すると赤く点滅しはじめる。点滅の速度ははじめは速く、数秒後にゆっくりとなる。カギで解除ができる。



このオープナーでカギは不必要

前席左上にフューエル・オープナーがある。これは手前に引っ張って開けるもので、昔のようにカギをわざわざ手渡さなくても済む。給油口は前ページ参照。

ドアトリムは一新され、イメージが変わった

今回の主な改良点はドアトリム。ポケットはながさが2段になっておりフタがついている。深さは最大150mm。ドアオープナーは930以降この位置にあるが、デザインは変更している。



ドアを開けてからの
作業になる

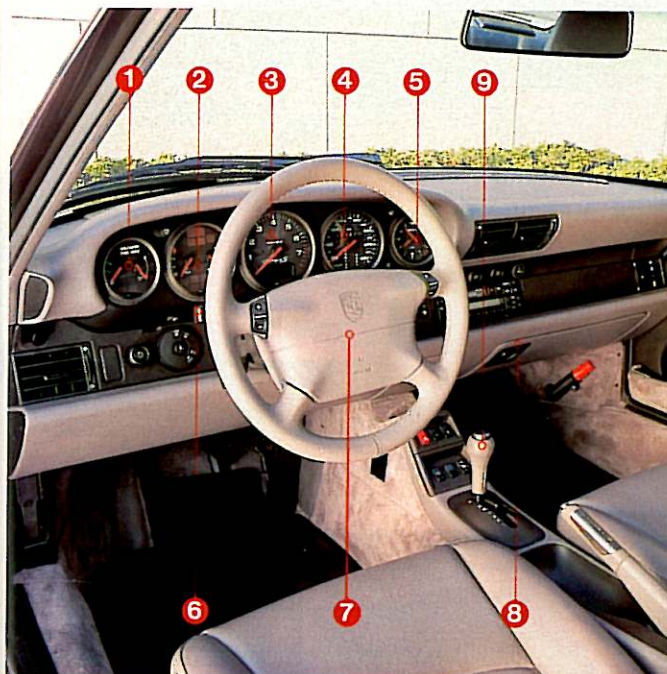
ドアを開けるとボディ側のアジャスト部に「T」字型をしたリアエンジン・オープナーがある。こちらのオープナーも手前に引くタイプ。

空気圧は
常に頭に入れておく?

ドアの厚みは911のボディ剛性の高さをしらしていている。また国産車のようにタイヤの空気圧を示すシールが貼ってある。

ディテール解説

ボルシェ911を愛する人は多い。その魅力ははかり知れなく、男心をくすぐるクルマだ。だが残念なことに、なかなか手に入れることは難しい。まあ、そこがいいのだが。じゃあインテリアはどうなっているのか。聞くに聞けないディテールを一挙解説!



911のインパネ全景。センターに並んだ5つのメーターと細かく配されたスイッチ類が印象的だ。

まずは
インパネ
からキワめる



MT

MTとTIPどちらも
それぞれ味がある

ディブトロはDレンジから右のゲートに入れ前後に動かすことでシフトチェンジする。3または4速にいれても発進は2速に自動的に戻る。そのスイッチはステアリングにも付く。



911はオイルが命

左は燃料計、右は油圧計。オイルは84度に温まってから量を測る。ドライサンプはオイルの量が多すぎると要注意。



！マークの意味とは

左は油圧計、右は油圧計。！マークは集中警告灯。トラブル発生箇所の警告灯と同時に点灯し、注意を促す役割。



常にこの位置を占拠

センターに位置するのはタコメーター。レッドゾーンは6800rpmから。デジタル表示はオンボード・コンピューター。



数字の位置がほかと違う

スピードメーターは最高300km/hを表示する。針が真上を指したときは160km/h。中央の数字はオドメーター。



警告灯の意味を理解する

これはウォータースタット。シートベルト/CAT/バッテリー/リアスポイラー/エアバッグなどの警告灯が共有する。



コンピューターは
このレバーで操作

ウィンカーの下がコンピューターの操作レバー。走行可能距離/平均燃費/平均速度/トリップメーター/外気温などが表示される。



ステアリングにも
このクラスの品質がある

エアバッグ内蔵のステアリングは38φ。964の中盤からエアバッグは取りつけられたが当時は36.5φであった。現在のこのカタチは94年からのもの。革の質感はさすがにクラスを感じる。



通常速度の上に
さらに2段階ある

ワイパーレバーは手前に引くとウインドウォッシャー、向こうへ押すとヘッドライトウォッシャーが作動する。ワイパー速度は3段階。



全開モードはかなり役立つ

幅214mmのエアコン操作パネル。左端の穴は室内の空気を引き込み温度を測るもの。特筆すべきは室内温度とフロント・デフロスターの全開モード・スイッチである。



4つの独立したスイッチ

ステレオの上のスイッチは左からリアデフの熱線/フロント・フォグ/リア・フォグ/シガーライター。すべて引くタイプとなる。



さらに
スイッチは
ここにある

灰皿下左からハザード/センターロック/集中警告灯キャンセル、その下左からリアワイパー/リアスポイラー/サンルーフ開閉スイッチ。



これは
はじめから
期待しない

グローブボックスはエアバッグ内蔵のため通常より下のほうに位置する。奥行きは約160mm。はじめから車検証しか入らないと考えるべき。



すぐには
慣れない
のが魅力?

ベダルは独特のオルガン・ベダル健在といったところ。ステイが下からはえているタイプ。ヒール&トゥは以前よりやりやすくなった。

'97年911装備表

モデル	オールレザーインテリア	パワーシート(L+R)	エアロスポイラー	スライディングルーフ	オンボードコンピューター
カレラクーペタイプI	—	—	—	—	—
カレラクーペタイプII/カブリオレ	△	△	△	△	△
タルガ(6MT/4TIP)	△	△	—	—	△
カレラS(6MT/4TIP)	△	△	—	△/—	△/○
カレラ4 クーペ	△	△	—	△	△
カレラ4 カブリオレ	△	△	—	—	△
カレラ4 S	○	○	—	△	○
ターボ(ターボS)	○	○	—	△	○

—は選択不可。△はボルシェ社オプション。○は標準装備。オンボードコンピューターは全モデルのTIP車に標準装備。